

〔雲上明覽下〕御子左家。

冷泉兩家 藤谷 入江

〔榮花物語三十四〕民部卿藤原御子のだいふの君とていとうつくしうものし給ひつるもうせ

給ぬれば略○中民部卿殿もいみじう覺しなげくみこひだり殿とて大みやなる所をいとおもし

ろくつくりてぞものせさせ給ける。

〔拾芥抄中末〕御子左三條坊門南大宮東兼明

〔倭訓栞中編二十五〕みこひだり 拾芥抄に、御子左は、三條坊門南、大宮東、兼明親王家、長家卿傳

領之とみゆ、即前中書王也、もと源姓を賜はり、左大臣なりしを、圓融院の時、親王としたまへり、

長家卿は、御堂關白道長公六男、俊成卿の曾祖父也、體源抄に、御子左馬頭兼實卿とも見ゆ、榮花

に御子左の書たまへる後撰二十卷と見えたり、小倉宮と稱す、

〔尊卑分脈六藤原〕法成寺關白道長公六男

長家御子左流 權大納言民部卿 一流祖 俊忠御子左流 俊成御子左流 定家御子左流 爲家御子左流 爲氏御子左流

爲世御子左流 爲通 爲定 爲遠 爲衡

〔東野州聞書〕一御子左の家と申は、爲定、爲遠、爲衡也、俊成をば五條三位と申、定家は京極と申、爲家

を中院と申、爲氏を冷泉と申、爲世を二條と申也、

〔海人藻芥〕日野家者、參議有國後胤、當時仕朝家者、東洞院、裏松、柳原町、廣橋、北小路、武者小路等也、

〔雲上明覽下〕日野家。

日野 廣橋 柳原 烏丸 竹屋 日野西 勘解由小路 裏松 外山 豊岡 三室戸 北小

路

〔建内記〕嘉吉元年十月九日壬寅、日野中納言兼郷卿